



あ や め



文責：生徒指導主事 川崎幸司



“新入生170名”を迎え、新年度のスタートです！

令和5年度の櫛形中学校「入学式」が4月7日（木）、体育館にて挙行されました。

当日は不安定な天候が予想されましたが、入学式の直前になると陽射しも見え、新入生を迎えるにあたり、喜びに明るさをも添えられ、うれしい限りでした。コロナ禍でご不便をお掛けする中ではありましたが、保護者の皆様、来賓の方にご臨席いただくなか、担任の先生の「呼名」に元気よく返事をする新入生の姿が印象的でした。



上田校長先生からは式辞の中で、「ただ今、大きな声で返事をし、元気づき立した170名の新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

本日より、皆さんは、櫛形中の生徒になりました。皆さんの入学を心から歓迎いたします。

さて、言うまでもないことですが、中学校生活は、義務教育集大成の三年間であり、子供から大人へと大きく変化する大切な時期であります。

皆さんは、この櫛形中で学ぶことにより、多くの人と出会い、切磋琢磨しながら様々な経験を積み重ね、一生忘れることのできない思い出を、生涯の友と共有することができるのです。だからこそ、ここで過ごす時間が今後の人生の宝となるよう、校訓である「高登彼岸」が示す通り、高い理想に向かって、三年間一步一步着実に努力することで、自分自身を大きく成長させてほしいと願っています。

そこで、新入生の中学校生活のスタートにあたり、二つのこととお話したいと思います。

一つ目は、「自立」についてです。自分で立つ「自立」です。中学生になった皆さんは、是非自分のことは自分で出来るように心がけてください。例えば、朝自分で起きることや、自分の洗濯物を自分でたたむなど、できる限り自分のことは自分でやり、できることを増やして行って欲しいと思います。大リーグで活躍している大谷選手も「自立を意識し取り組んだことで成長できた。」と言っています。

二つ目は、「負けることに負けない心」についてです。「負けないことは立派、負けに負けないことはなお立派」これは私が好きな言葉で、剣道の達人の名言です。中学校生活では、自分の思い通りにならないことも多くあると思います。でも、実はその時こそ一番成長する時なのです。思い通りにならないことや、失敗を乗り越えることで、負けに負けない心を持った人になれるよう、自分自身を鍛えて行って欲しいと思います。

「自立すること。」「負けに負けないこと。」このことを胸に刻み、一人一人が充実した中学生生活を過ごし、ここにいる先輩たちと協力し、皆さんの手で、皆さんが誇りに思える櫛形中を作ってくれることを、校長として、また、本校の先輩として、心から期待しています(一部抜粋)。との言葉をいただきました。

上級生からは、河野拓真生徒会長が代表として「68年目の、僕たちだけの、今までにない櫛形中学校を創りあげましょう！」と歓迎の意を伝え、2、3年生による「ハレルヤ」の合唱で歓迎の心を伝えました。未知の生活を迎える新入生にとっては十分な励ましとなったことと思います。



また新入生代表、河西理子さんの【誓いの言葉】も、「伝統ある櫛形中学校・・・憧れていた新しい制服に袖を通し、今日からいよいよ中学校生活が始まります・・・中学校生活の三年間が実り多きものとなるように、強い志をもち、仲間との絆を大切にして、何事にも積極的に、一生懸命取り組んでいくことをここに誓います。」と、希望と決意を十二分に表現したものでした。これから全校生徒で気持ちを新たに、学習や部活動など、日々の学校生活を送るとともに、全校生徒の英知とパワーを結集し、櫛形中学校の新たな歴史を紡いでいくことを強く期待したいと思います。

気持ちも新たに！

< 新任式・始業式 >

「入学式」前日の6日（木）には、「新任式」および「始業式」が行われました。昨年度末に本校から多くの先生方が転退職され、とても寂しい思いをしましたが、今年度、11名の先生方をお迎えし、新たな顔ぶれで、伝統の中にも、新しい時代に新しい櫛形中を創造するべく、新学期が始まりました。

始業式の中で、上田校長先生が、

『 Aim High! (より高い理想郷を目指せ)』

『自分を大切にすること』

『言葉を大切にすること』

『思いを大事にすること』

『出会いを大切にすること』

『理想の自分をイメージすること』

『心のスイッチを押すこと』

『「一生忘れることのできない思い出」をつくること』

『足跡を刻むこと』

⇒・尊敬される先輩に

・尊敬しあえる人間関係づくりを



と、全校生徒に熱く語ってくれました。

そして「一生忘れることのできない思い出」とは、何かに向かって本気で挑み、苦しさや達成感を実感することによってのみ作ることができる、自分自身の記憶の中に一生残り続ける思い出のことです。

ここから始まる令和5年度、530名の全校生徒と52名の先生方が一丸となって、櫛形中に関

わる全ての人が誇りに思える学校を目指し、一生忘れることのできない思い出を作りましょう。」と結びました。

また始業式では、新2年生から山本陽太さん、新3年生から近藤優衣さん、生徒会から塚原沙耶さんが、代表して今年度の抱負を発表しました。3名が、全校生徒にむけて抱負を語る様子から、進級をし新たな学年の始まりを決意したものであることが感じられ、また上級生としての心構えも垣間見られ、非常に頼もしく見えました。

新任式での「校歌（合唱）」・歓迎の合唱「ハレルヤ」では2、3年生が約2週間ぶりにもかかわらず、声高らかにハーモニーを響かせてくれました。さらには式のあいだ、先生方の話と仲間の発表に眼を見開いて聴いたり、「お願いします。」「ありがとうございました。」とあいさつをする全校生徒の姿勢の中からも



進級に対する自覚と決意が伝わってきました。

保護者の皆様には、これから1年間、櫛形中学校の教育活動に対しまして、ご理解とご協力、またご支援をお願いすることになります。よろしくお願いいたします。



* 令和5年度 櫛形中教職員一覧 *

所属	役職・担当	氏名
教務部	校長	上田 直人
	教頭	吉原 仁実
	教頭	矢崎 恭央
	教務主任	宮澤 直司
	生徒指導主事	川崎 幸司
	拠点校指導員	片山 敬太
	養護教諭・保健主事	武藤 まほ
	養護教諭	井上 咲子
	事務幹	遠藤 尚美
	事務職員	三井 有沙
	司書	河西 梓
庁務員	浅賀 綾	
スクールカウンセラー	高橋 洋文	
一学年部	1学年主任	清水 静
	1学年副主任	渡邊 英輝
	1年担任	上田 長彦
	1年担任	山宮 果奈
	1年担任	舟久保 孝樹
	1年担任	秋山 裕翔
	1年担任	三井 快斗
	あやめ1担任	尾身 美廣
	学年所属	田中 彩也香
	学年所属	井上 秀喜
学年所属	上田 正文	
二学年部	2学年主任	八巻 ちはる
	2学年副主任	竹野 涼子
	2年担任	小林 宏臣
	2年担任	小池 優孝
	2年担任	中嶋 一進
	2年担任	矢崎 愛子
	2年担任	志村 優斗
	あやめ2担任	小林 寿
	学年所属	依田 ひなの
	通級担当	深沢 幸
学年所属	小池 友子	
ALT	デビッド	
三学年部	3学年主任	川窪 和子
	3学年副主任	小澤 なおみ
	3年担任	飯野 友峰斗
	3年担任	南湖 徹也
	3年担任	大塚 健太
	3年担任	柴田 沙知奈
	3年担任	鈴木 健太
	3年担任	齊藤 佑輔
	ひまわり担任	佐久間 和之
	あやめ3担任	鶴田 恭子
学年所属	加賀美 久美子	
学年所属	横山 憲明	
通級担当	名執 昌未	